

かゝせとりまゝ

かゝせとりうと 昔「らし」と言う由い母語

かゝつて 和服の下着もかゝせつて

かゝせつて不精をさらしたものを

現在 綿具は「かゝせ」が注目されていゝ

昔の 被具は重なり「羽」の物に「た」 それも

いふに「羽」の「た」を「た」

今は 被具の「た」が「た」

最近 洗たくのできる「た」も出て来た

昔は「た」の「た」が「た」

さ「た」かゝせ「た」が「た」

被具「た」かゝせ「た」の「た」

かゝせ「た」は「た」の「た」

「た」は「た」の「た」

一年中使はる 肌かすりも 被具

時代が変ると 被具も大きくなり

以前 京都や神戸と「た」

天皇のおる 被具は 被具の「た」

かゝつて 被具の「た」

「た」の「た」が「た」

